

令和 7 年 1 月 10 日新春記者会見

【質疑応答要旨】

＜記 者＞ ヘルスラボ・こまきについて、何の跡地に作られた施設か。また、その面積についてお尋ねしたい。

＜ 市 ＞ まなび創造館トレーニングジムの跡地に整備した。面積はおよそ 250 m² である。

これまで、市営のジムはまなび創造館とパークアリーナ小牧にあった。パークアリーナ小牧のジムは今後に残していくが、民間のジムも増えてきたため一定の役割を終え、高齢化の中で「健康で長生きをしていただく」という思いで、介護予防や健康づくりに関心を持っていただけるような施設に変えさせていただくこととした。

＜記 者＞ プロ野球オープン戦について、無料招待を予定している陶小学校の児童と市内中学 3 年生で、どれくらいの人数を予定しているか。

＜ 市 ＞ 陶小学校の児童は約 160 名おり、学校に案内して参加できる児童を募っているところである。市内の中学 3 年生については、今のところ 100 名程度を無料招待する予定である。

＜記 者＞ 市内の中学 3 年生のうち 100 名程度ということは、希望者を募った結果、定員を超えた場合は抽選のような形をとるということか。

＜ 市 ＞ お見込みのとおり。現在教育委員会を通じて募集の案内をしており、もし定員を超える場合は抽選を予定している。

＜記 者＞ 全国史跡整備市町村協議会大会について、今回小牧市で開催されることとなった経緯をお尋ねしたい。

＜ 市 ＞ 本市が市制施行 70 年で大会も第 60 回という、それぞれが節目を迎える年で、これまで愛知県では一度も開催されたことがなかったということもあり誘致させていただいた。昨年度開催された宮城県多賀城市は、多賀城の創建 1,300 年を記念して大会を誘致していた。

文化庁や研究者、国会議員や加盟市町など、数百人の方にお越しいただく大きな大会である。本市を含む県内 14 市町で実行委員会を発足し、小牧市長が委員長を務めている。

本市を拠点にエクスカッションを複数コースご用意して、県内の史跡を巡

っていただくことを予定している。今後も加盟市町と連携して準備を進め、ぜひ成功させたい。

<記 者> こまき山イーストパークのロゴマークについて、作成から決定までの流れをお尋ねしたい。オーディションなどは行ったのか。

< 市 > ロゴマーク作成前に市民の皆様にも公園の愛称を投票していただき、「こまき山イーストパーク」と決定した。そして決定した愛称をもとに、公園整備を行う「小牧山東公園事業共同企業体」と市で公園のコンセプトを共有し、親しめる公園となるようロゴマークを作成することとした。デザインは、職員が作成した素案をもとに企業体とともに色味などを決定した。70 周年のロゴについても言えることだが、できるだけコストを抑えるため職員を対象にデザイン案を募集した。職員の中にはデザインを得意とする者もあり、応募された中でもよい図案があった。市民の皆様にも十分に喜んでいただけるものだと思います。

< 市 > 70 周年の T シャツ販売について補足だが、機運を高めるという意味でも、乳児院への寄附という意味でも、ぜひ多くの方にご購入いただきたいと思います。販売サイトへは市ホームページの 70 周年特設サイトから直接アクセスできるようになっているため、ぜひご覧いただきたい。

<記 者> 健康づくり推進事業所の表彰について、2 月 4 日に表彰対象となる 5 社はこういった法人か。また、交流会の申込期限について今一度確認させていただきたい。

< 市 > 今回は既に健康経営優良法人として認定を取得している事業所がほとんどであるが、今後取り組んでいこうという事業所も含まれる。ただし、協会けんぽにおいては、健康宣言チャレンジをされている事業所が対象となっている。

申込期限については、当初 1 月 8 日までの予定であったが、まだ定員までに余裕があるため、17 日まで延長している。

<記 者> 健康経営優良事業所として選定されるとどのようなメリットがあるか。

< 市 > 一番には、副賞という形で、健康経営に資する講演会等に活用していただくための賞金をお出ししている。それ以外には、市ホームページでも事業所名を公開することにより PR させていただければと考えている。